



ID: 1402

科目名	経営の実際(特講) I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Actual condition of management I						
担当教員名	金 優			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
まず、中小企業を理解し、系列企業とは違う「独立中小企業」の経営問題を取りあげる。次に、中小企業の経営問題解決の手法を学ぶ。企業は命がけて製品を販売している。したがって、「独立中小企業」の経営戦略はマーケティング戦略が中心となる。本講義では、「独立中小企業」の経営全般に無形財を販売対象とする「サービス・マーケティング」の考え方や手法を取り入れて、実践的な経営を学ぶ。							
到達目標							
「独立中小企業」の経営手法を実践的に学び、起業家精神を養う。							
授業計画							
第1回	「中小企業の経営問題」 独立中小企業とサービス・マーケティング						
第2回	「経営問題の解決」 企業理念の決定とサービス・マーケティングの形成						
第3回	「経営戦略」 サービス・マーケティングの事例研究(企業理念・製品イメージ)						
第4回	「経営戦略」 サービス・マーケティングの事例研究(活動領域・立地条件)						
第5回	「製品戦略」 製品ライフサイクルと新製品開発 …第1回目レポート提出						
第6回	「技術開発と新製品開発」 市場の変化と競争優位						
第7回	「製品のシステム化」 単一製品とシステム製品						
第8回	「市場細分化」 市場の異質性創出とサービス・マーケティングの展開						
第9回	「市場細分化」 サービス・マーケティングの事例研究(旅行・金融・食品・飲食・病院・娯楽・教育・理美容院)						
第10回	「起業」 経営資源の確保 …第2回目レポート提出						
第11回	「起業」 企業理念の決定とサービス・マーケティングの展開						
第12回	「起業」 市場細分化とサービス・マーケティングの展開						
第13回	「市場の変化と優位性確保」 更新需要刺激型マーケティングの展開						
第14回	「多角経営と戦略的提携」 経営資源の企業間提携						
第15回	「バーチャル起業宣言」 …第3回目レポート提出、又は発表						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
受講レポートを、合計3回提出すること。試験はしない。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20%	60%	0%	20%
授業外学習			テキスト、教材				
			板書、プリント配布				
参考書			受講生へのメッセージ				
米谷雅之『現代製品戦略論』千倉書房 戦略的行動の諸側面』		若林直樹『戦	「起業」を目指す学生諸君集まれ！ 応援しま～ず。				
キーワード							
独独立中小企業、経営戦略、サービス・マーケティング・起業							